

そのスマホの使い方、大丈夫？

講演会 | 便利さのそばにある危険に気づき、自分と相手を守る使い方を考える

6月19日（金）、大船渡警察署 生活安全課長 大沼 広樹 様を講師としてお迎えし、「サイバーセキュリティ講演会」を開催しました。大沼様からは、SNSに起因するトラブルの現状や、具体的な事例がどのような犯罪につながる可能性があるのか、また、心の隙から思わぬトラブルに巻き込まれることがあることについて教えていただきました。

講演中、多くの生徒が真剣な表情で大沼様の話を聞いていました。スマートフォンやSNSは、連絡や学習、情報収集に役立つ便利な道具です。一方で、便利さの裏側には危険もあります。「自分は大丈夫」と思わず、スマホやSNSの利用に伴う危険を自分事として捉え、立ち止まって考えることが大切です。

右のグラフを見ると、中学生のスマートフォン利用率は高い水準で推移し、令和7年度には9割に達しています。また、SNSに起因する事犯で被害にあった中学生は毎年700人を超えています。これは全国の統計ですが、同様の危険は岩手県内の生徒にとっても身近な問題です。日常の投稿やメッセージ、ゲームやSNSでのやり取りから、知らない相手との接点生まれ、トラブルにつながる可能性があります。写真や個人情報を送る、会うよう誘われる、性的な画像を求められるなど、深刻な被害につながる場合があります。

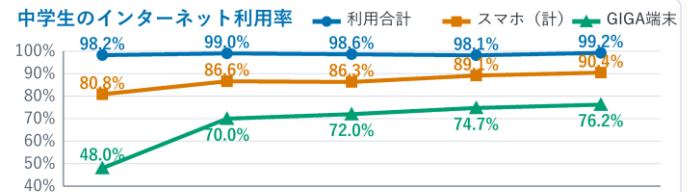
こうした事例では、相手の行為が法令や条例に違反する場合があります。一方で、誹謗中傷や他人の写真を無断でSNSに投稿するなど、自分の行為が相手の権利を侵害したり、法的な問題につながったりする場合があります。

大切なのは、怖がって使わないことではなく、正しく知り、立ち止まって考えることです。「この写真を送ってよいか」「この言葉で相手を傷つけないか」「知らない相手の誘いに応じてよいか」と、一度考える習慣をもつことが、自分と相手を守ることに繋がります。困ったときや不安を感じたときは、一人で抱え込まず、家族や先生、身近な大人に相談してください。

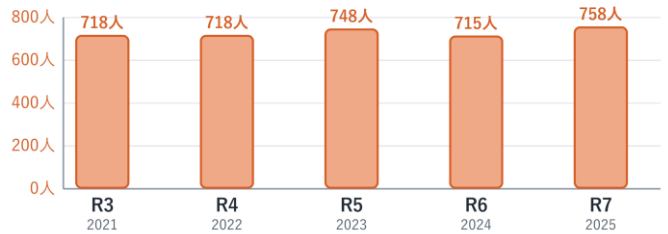
ご家庭でも、利用時間だけでなく、投稿内容、写真や個人情報の扱い、知っている相手・知らない相手とのやり取り、困ったときの相談先について、ぜひ話し合う機会をもっていただきたいと思います。学校でも、相手を思いやる心と安全への意識を大切にしながら、情報社会を生きる力を育てていきたいと思っています。

中学生のネット利用とSNS起因の被害（最新5年）

利用率は年度調査、被害生徒数は警察統計の中学生の人数です



SNSに起因する事犯の被害生徒数（中学生）



注記 スマホ＝スマートフォン（計）。GIGA端末＝学校配布・指定の端末。利用率は中学生全員を基に集計。被害生徒数は件数ではなく人数です。

出典：こども家庭庁「令和7年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」警察庁「令和7年における少年非行及び子供の性被害の状況」



講演会の様子